

令和7年度第1回宮代町立図書館協議会議事録

日時：令和7年6月12日（木）16時00分～18時00分

場所：宮代町立図書館 研修室

●出席者 委員：山内薫・村山ふさ江・白木正勝・国川恵子・三角由美子・茂木代美・石崎徳幸（順不同、敬称略）

事務局：教育長島村・生涯学習室長飯山・主幹川崎・主事吉岡

指定管理者：図書館長清水・一般チーフ永堀・児童チーフ名倉

●欠席者 委員：荒井拓也（敬称略）

●次 第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 あいさつ
- 4 自己紹介
- 5 宮代町立図書館協議会について 資料1 別紙1
- 6 会長及び副会長選出
- 7 審議及び報告事項
 - (1) 令和6年度利用・蔵書統計について 資料2-1 資料2-2
 - (2) 令和6年度図書館利用者アンケート結果について 資料3
 - (3) 令和6年度図書館協議会委員アンケート結果について 資料4
 - (4) 令和7年度事業計画について 資料5 資料6
- 8 その他
- 9 閉会

●会議概要（1～4省略）

5 宮代町立図書館協議会について…事務局から説明（別添資料参照）

6 会長及び副会長選出

委員の互選により以下のとおり決定

- ・会長 山内 薫 氏
- ・副会長 村山 ふさ江 氏

7 審議及び報告事項

(1) 令和6年度利用・蔵書統計について…図書館から説明（別添資料参照）

《（1）に関する特記事項》

- ・資料貸出及び予約状況について。貸出について、合計は前年比93%と減少するも、電子書籍

のみで見ると 128%と増加している。予約状況については、Web 予約が前年度比 105%と増加している。

- ・行事参加者数について。ライブラリーシアターとナクソスミュージックライブラリー利用コンサートは前年比 130%以上と増加しており、常連の方が増えたことも要因といえる。
- ・広域利用について、宮代町約 7 割、広域約 3 割である。利用者数・貸出数は杉戸町・春日部市・白岡市の順が多い。Web での予約・延長は宮代町約 6 割、広域約 4 割である。
- ・時間帯別利用者数について、10 時～11 時、14 時～16 時に利用される方が多い。
- ・年度別資料蔵書数について、一般書・児童書に関しては平成 22 年度と比べてそれぞれ増加している。

《（１）に関する主な質疑応答》

委員 利用者登録について。登録者数については今年のものか。現在の合計の登録者数はどのくらいか。

図書館 登録者数は今年新たに登録した方の数である。期限については、3 年の有効期限があるものの、有効期限が切れたとしても除籍にはならない。3 年に一度登録の更新をすることで、利用者条件を満たしているか確認している。累計登録者数は約 5 万人ほどである。正確な数字についてはすぐには回答できないため、改めて確認し次回の協議会の際に回答する。

委員 今年度の利用登録者数には他の市町村も入っているか。

図書館 入っている。

委員 累計登録者数の内、宮代町民の割合はわかるか。

図書館 手元に資料が無いため、すぐに回答ができない。後日回答する。

委員 利用者登録の期限について。自身の経験で、ずっと利用していなかったため登録が抹消されていると思い、カウンターに行ったら以前登録していたデータが残っていたということがあった。このようなことから、小学校など皆で登録をした子どもたちが、大きくなったときに手元にカードがあっても、もう使えないと勘違いしてしまうようなことがあるのではないか。

委員 図書館によっては 5 年を過ぎると自動的に除籍になるようにしているところもあるようだが。

図書館 期限については、3 年の有効期限があるものの、有効期限が切れたとしても除籍にはならない。3 年に一度登録の更新をすることで、利用者条件を満たしているか確認している。

委員 埼玉県公共図書館の R5 年の蔵書数と比べたときに、数字に AV 資料が含まれていないのは何故か。

図書館 統計の出し方の違いによるためだと思われる。詳しくは後日確認したい。

委員 団体貸出状況について。雑誌の項目について前年比 1600%と大きな数字だが何故か。雑誌はどのように選び貸出しているのか。

図書館 貸出数については前年度 1 冊から 6 年度 16 冊の貸出があったことからこのような数字となっている。貸出については、団体に図書館に来館してもらい選んでもらう場合と、団体からの要望に合ったものを用意する場合がある。いずれ

も図書館のバックナンバーより行っている。

(2) 令和6年度図書館利用者アンケート結果について…図書館から説明（別添資料参照）

《(2)に関する特記事項》

- ・回答が多かった世代は70代。町内の方が多く、自家用車で来館する方が多い。
- ・図書館の利用方法について、本・雑誌・CDを借りる、雑誌・新聞等を読む、予約を取るが多い。
- ・図書館サービスについての満足度では、とても満足・まあ満足を合わせて83%とおおむね満足をいただいている結果となった。
- ・今年度は電子サービスについてアンケートを行った。今後図書館展示ホールにて、日工大と協力しスマホの使い方教室を予定している。その中で電子書籍の利用についても案内する予定。電子サービスの周知に努めていきたい。
- ・アンケートの結果については現在館内に展示している。

《(2)に関する主な質疑応答》

委員 ホールの貸切り利用が抽選形式になったことについて。早くから希望していても抽選に外れてしまうと、短い期間で次の候補場所を探さなければならないため、利用者にとっては不安なのではないか。以前の先着方法のほうが良いのではないか。また、抽選方式となったのは町で決めたことなのか。

図書館 抽選方式は図書館で決定した。抽選は、6か月前から受付を開始し、1日から10日間までの間が抽選期間で、翌日には結果が出る仕組みとなっている。期間中は24時間受付可能であり来館が難しい人も、平等に利用できる点により利便性が上がると考えている。今までは予約日を一日ずつ更新していたが、抽選式にすることで、一月分ずつ受付ができることも利点ではないかと考え、抽選式となった。また、先着受付時と変わらず電話でも受け付けは行っている。

委員 ホールのみ抽選方式なのか。

図書館 研修室と展示ホールも同じく抽選を行っている。

委員 自身の経験から、春日部も公民館の利用で抽選方式をとっているが、Web受付になったことで来館せずに済むため便利になったと感じる。

委員 アンケートを書かれた方のようにWeb利用が苦手な方もいるため、それ以外の方法も必要なのではないか。

図書館 Web利用が難しい方には、引き続き電話を利用して申し込みして頂き、後日結果をお知らせするようにしている。

委員 大型絵本の一般貸出がされていないことについて。墨田区などは一般の方でも利用できるようになっている。一般の人が借りられないのはなぜか。誰が借りることができるのか。

委員 一般の方に貸出ししないのは傷まないようにするためではないか。利用者は主に学校等の登録団体である。

委員 白岡市などは一般の人にも貸しているが、かなり傷んでいるように感じる。

委員 傷んだら買えばよいのではないか。

- 委員 また、一般の方が借りるには書庫にあるため気づかれないということもある。
- 委員 検索で出てくるのではないか。
- 図書館 検索には出てこない。
- 委員 何故検索には出てこないのか。貸出禁止にしても検索には出てくるはずではないか。
- 図書館 貸出ができないわけではないため、貸出禁止にはできない。
- 委員 他館で行っているところもあるが、資料種別を分け学校図書室用などとして別枠に登録しておき、学校図書室用については一般の方も予約は受け付けていないなどとするのはどうか。システムの項目を1つ増やすなどもよいのではないか。
- 図書館 当館は元より資料種別が少ない。そのためシステムに変更を加える必要があるが、予算的に難しい状態である。以前システムの変更も検討したが思いがけない金額が出たことがある。
- 委員 大型絵本は団体での利用のみと限られる中でも、利用のタイミングが重なることがある。学校同士であれば利用時間をずらすなど対応ができるが、一般に貸出しするのであれば本来優先すべき時に貸出中になってしまうことが多くなるという不安もあるのではないか。
- 委員 大型絵本については、周知の為にもぜひ資料検索には表示されるようにしてほしい。
- 委員 「旅行誌を2～3年以内に発行されたものにしてほしい」という意見について、旅行雑誌の蔵書の状況を伺いたい。
- 図書館 随時新しいものになっているものの旅行時期は利用者が重なることからすぐに貸出されてしまうため、バックナンバーを5年ほどは開架に置いている。ある程度はご了承いただきたい。
- 委員 老眼鏡は置いているか。
- 図書館 カウンター等にある。リーディングトラッカーなども用意している。
- 委員 アンケートの中には嬉しいものもあった。(利用者アンケート6ページ上から19個目のご意見を読み上げ)改めてありがたいと感じる。
- 図書館 正反対の意見も中にはあったが、頂いたアンケート結果を全て載せているためこのようになっている。
- 委員 電子サービスと学校図書室との連携がどれくらい進んでいるのか。図書館とのかかわりについて伺いたい。特に電子書籍等は図書室に入れているのか。
- 委員 学校図書室が受け入れてきていない状況か。一人一台タブレットが配付されているものの、学校のタブレットの利用には制限があり、町の許可がないとアプリ等も入れられないなど難しい部分もあるのではないか。
- 図書館 タブレットについては自宅には持って帰ることができないと聞いている。電子図書館であればIDやパスワードがあれば誰でも利用できるため、出来る限り電子サービスも利用してほしい。皆で同じものが読める学校図書の読み放題パックなどもあるが予算の関係で難しいのが現状である。また一部では紙媒体がよ

いという声もあるなどさまざまな意見が出ている。町の子育て支援課に電子書籍を取り上げてもらった際には保護者の方から反響もあったため、普及に努めていきたい。紙の本では借りにくい病気の本や悩みに関する本などは借りやすいという利点もある。

(3) 令和6年度図書館協議会委員アンケート結果について…図書館から説明（別添資料参照）

《(3)に関する特記事項》

- ・やさしい利用案内の目次にルビがついていなかったという意見については、現在はルビをふっている。

《(3)に関する主な質疑応答》

- 委員 (7 ページ中程の意見)岩槻区の住民を取り込むとはどのようなことか。
アンケートについて意味が分からないものは載せる必要がないのではないか。
- 委員 アンケートの為すべての回答を載せないわけにはいかないのでは。意味としては岩槻区の方々にも利用を呼びかけろという意味ではないか。
- 委員 広域利用の利用を呼びかけてはどうかということではないかと考えられる。
- 図書館 広域には岩槻区（さいたま市）は入らない。
- 事務局 県のシステム(埼玉県内図書館横断検索)を使用することで、案内の公共図書館の蔵書を検索でき、最寄りの図書館で借りることができる。
- 教育長 入場者を増やすということで考えると、広域に入らない地域の方でも東武動物公園など近くの施設を訪れた方が立ち寄るように呼び掛けていることを述べているのではないか。
- 委員 入場者だけ増やしても意味がないのではないか。
- 図書館 以前からそのような話はある。正しいかどうかについては議論があるが、入場者については指標としてあるため頑張っていきたい。
- 委員 レファレンス共同データベースの参加館になったことについて。全国の公立図書館が参加し事例を挙げている。事例を挙げるのは大変なことではあるが沢山挙げてほしい。展示などでも事例を紹介しても面白いのではないか。
- 委員 以前「100 万回死んだ猫ー覚え違いタイトル集ー」という本を読んだ。その中で福井県立図書館の方たちが、レファレンスの事例を挙げることをおすすめしていた。やはり有効なことではあるため、大変ではあるが、自分にとって参考になり、相手に参考になることもあるため、ぜひやっていただきたい。
- 委員 特に郷土関係の事例などは他にはないものであるためできるだけ挙げてほしい。
- 図書館 努めていきたい。
- 委員 選書について。貸出しなどに続き重要な業務であると考えている。業務中に意見交換をしているとのことであったが、最終決定はどなたが行うのか。町が定める資料収集方針に基づき選書を行っているとのことだったが、これを委員の方々にも理解していただく必要があるのではないか。
- 図書館 選書については、最終的にはそれぞれの部門のチーフが決定して行っている。

- 事務局 資料収集方針については確認し次回の協議会の時には用意する。
- 委員 授乳室について。館内に授乳室を示す POP 等が無い。職員に聞かないと場所がわからない状態なのは保護者にとって抵抗があることなので、場所を示すものをつくって欲しい。また、保健センターのように囲いがありそこでできるような作りではなく、講師控室は奥側にあるため利用しづらいのではないかと。
- 図書館 講師控室以外となると朗読室などが利用できる。
- 委員 朗読室はボランティア団体など講師控室に比べ利用している人もいるので朗読室を使用するのは得策ではないのではないかと。子ども連れの利用者は児童書スペースにすることが多いため、そこに授乳室の表示をするのはどうか。
- 事務局 現在は授乳室があるのかもわからない状態のため、ピクトグラムのようなわかりやすい表示をするのがよいのではないかと。また、「スタッフにお声がけください」のような表示をするだけでも、利用者にとっては使用しやすくなるため、そのような対応をさせていただくのでよいか。
- 図書館 現在県から出ている「搾乳できます」というポスターは自販機スペースに貼っている。しかし、授乳や搾乳の場所についての表示はないため後ほど掲示したい。
- 委員 利用者が使いやすいようにしていただきたい。
- 委員 代理貸出サービスについて。今まで利用者はいるのか。また告知はしているのか。告知をしていないのに利用者がいないというのは違うのではないかと。
- 図書館 以前は利用者がいたが、利用されていた方が亡くなったため利用者がいない状態。HP には載っている。Web の利用をしているか、していないかで認知度が異なるかもしれない。
- 委員 来館困難者にとっては非常に便利なシステムだと思うので、年に 1 回は広報に載せてほしい。来館できない人たちを呼ぶ施策を工夫できないだろうか。
- 委員 電子書籍について。埼玉県統計によると令和 5 年度のタイトル数が 1 万 2644 件となっており、購入したものが 4532 件で、その他が 8112 件となっている。この中には青空文庫のものが相当含まれるようであるが何故か。
- 図書館 青空文庫のタイトルが増えると自動的に入ってくるようになっているため。
- 委員 蔵書統計によると電子ブックの受払はそれぞれ 0 になっているが、これらの分は含まれないのか。
- 図書館 電子ブックと電子図書館は異なるため、また違ったものとなる。
- 委員 電子書籍の購入はしているのか。
- 図書館 購入はしている。
- 委員 宮代町の蔵書統計には電子書籍については載っていないようだが、埼玉県の県の統計資料には電子書籍に関するデータについての記載があるようだがそれは何故か。
- 図書館 統計の取り方が違うと考えられる。
- 委員 承知した。
- 委員 高齢者サービスが今後力を入れてほしい取り組みトップになっているが、アン

ケートを答えた方の42%以上が70代以上の方であり答えた方のほとんどが力を入れて欲しいと答えていることになる。よってどのようなことが求められているのか具体的に展開できるようにして欲しいと思う。

(4) 令和7年度事業計画について…図書館から説明

《(4)に関する特記事項》

- ・今年度は読書会と電子図書の利用促進に特に力を入れる予定。

《(4)に関する質疑応答》

特になし

8. 事務局より連絡事項

- ・今年度で第3期指定管理者期間が終了となり、現在第4期の募集の期間に入っている。選定委員会の日程が図書館協議会とタイミング合わないため次回の図書館協議会の際に選定結果等を報告させていただく予定。
- ・図書館協議会の委員の中からも、指定管理者選定委員会にご協力いただくこともあるかと思うので、利用者目線はもちろん、図書館に携わってきた経験や知見で、選定委員会の中で意見を頂き、選考して頂きたいと思う。
- ・次回会議は、11月中旬～下旬ごろに開催予定。

9. 閉会